

通級だより

静岡聴覚特別支援学校

通級指導教室

2023年11月 No.7

**難聴理解授業！
私はこれを伝えたよランキング！**



難聴理解授業を実施して、クラスの友達や先生方に補聴器や人工内耳の理解を促したり、体験を通して聞こえにくさや聞こえやすい環境づくりの大切さを伝えることもできました。今回は、「難聴理解授業で伝えたことランキング」をし、通級生がどんなことを知っておいてほしいかをまとめてみました。学年やクラスの様子によって内容が異なりますが、ぜひご覧ください！

No.1

友達にお願い 23人

聞こえにくいときにしてほしいことなど、授業中や休み時間に友達に協力してほしいことを伝えることができました。

No.2

補聴器、人工内耳について 19人

「耳につけてるのはなに？」友達からいつも聞かれるのはちょっと大変。補聴器や人工内耳のことを、みんなに知っておいてもらえると安心ですね。

No.3

ロジャーの使い方 17人

先生が首から下げているのは何だろう？どんな風に聞こえるの？体験をとおして、ロジャーの大切さを分かってもらえると嬉しいですね。

| | | |
|----|--------------------------------|---|
| 4位 | 自分の聞こえについて 13人 | どんな時に聞こえにくいだろう…聞こえにくい場面を具体的に分かってほしいという通級生の気持ちが聞けました。 |
| 5位 | きこえにくいって どんなこと？ 10人 | 難聴体験をとおして聞こえにくさを感じてもらうことで、伝わることもありますね。 |
| 6位 | 友達への感謝 7人 | ロジャーを使ってくれたり、大きな声で発表してくれたり、聞こえにくかったときには教えてくれたり…。いつもありがとう。 |
| 7位 | 耳の仕組み 3人 | 耳ってすごいね！授業の中で伝えることで、耳の仕組みを理解してもらえました。 |
| 8位 | 手話について 2人 | 手話のことをもっと知ってほしいという通級生もいます。見て伝わる言葉、手話の楽しさを友達に知ってもらえました。 |

いかがでしたか。他の通級生がどんなことを伝えたか、また、今後どんなことを伝えていこうか、参考にしてみてください。

11月のスキルちゃん

～言語環境を整えましょう～

子どもの不完全な表出（間違った単語・文）をその場で直していますか？

*聴覚障害の子どもは、自然に入ってくる音声で訂正することは難しいので、限られた機会を捉えて指導します。

①その場で教師が文に直して、子どもに返す。（しっかり聞かせる）



②口声模倣や復唱させる。

キューサインや指文字を使って、音韻を明確にする。文字が読める子は文字も使う。

*正しい日本語（助詞、助動詞や動詞の活用等）を習得するために口声模倣や復唱の習慣化を図りましょう。

口声模倣を、「一緒にやるよ。」とか「模倣して」とか言わなくても、教師が模倣を意図していることが伝わり（目を合わせる、間をとる、模倣したらほめるなど）自然にできると、話の流れが止まることなく、また、子どももやらされている感がなくできます。

例



口声模倣の順

①→②→③→④→⑤→⑥

単語での応答には、文に変えていこうと意識しましょう。

～発音・発語のポイント 通鼻音（マ行、ナ行）～

鼻に手を当てると、びりびりと少し振動するのが通鼻音です。両唇を閉じたm音からゆっくり唇を開きながら母音を言うとマ行。前舌を歯茎につけてn音からゆっくり舌を離しながら母音を続けて言うとナ行になります。